

社会技術革新学会  
研究計画・報告書

研究計画書	
研究会の名称	事故事例研究会（第Ⅳ期）
題目	
参加者（座長◎ 副座長○） 運営幹事	◎横山 哲夫、野田 剛、中島 幹
研究開始年月および 研究終了予定月	2015年6月から 2017年3月まで
研究の目的	(1)企業内における安全対策を社会情勢から考察し研究する。 (2)その対策の伝承方法を議論し、次世代へ伝承する方法を研究する。
研究計画の内容	第Ⅰ期は実際に発生した事故事例を研究会で発表し、真の事故原因について考察した。第Ⅱ期では事故原因の多くが現場における知識不足から発生しており、安全伝承が重要であると結論付けた。第Ⅲ期ではその安全伝承の方法を議論したが、安全対策を伝承する側と受ける側の意思疎通がなければ伝承はできないと考えた。そのため第Ⅳ期ではどうしたら意思の疎通を図れるのか、ベテランから次代を担う若者へ安全の重要性を伝えるにはどうしたら良いのかを研究する。よって現業に携わっている若者が研究会に参加しやすい環境を整えつつ研究会を進める。また、定期的な研究会の開催はモチベーションを保つため重要であるため、開催月、開催場所、発表会社を事前にきめて進める。詳細は添付の企画書による。
受理番号	企画運営委員会 受理 2015年10月23日
報告書	
<2015年度>	
2015年 5月13日	企画書の提出（5月21日企画運営委員会にて受理）
2015年 7月27日	第Ⅳ期 事故事例研究会の実施に付いての打合せ 開催場所：綜研化学（高田馬場）
2015年 8月 4日	第Ⅳ期 事故事例研究会開催予定案の作成（第1回研究会で説明）
2015年 9月29日	第1回 溶剤乾燥機の火災 開催場所：大川原化工機（鴨居）
2015年 11月17日	第2回 装置建設現場における危険と安全 開催場所：綜研化学（高田馬場）
2016年 1月19日	第3回 回転体に巻き込まれ災害事故報告 開催場所：日本化学工業（亀戸）
2016年 3月25日	第4回 航空機事故事例 開催場所：JAL 安全啓発センター（羽田）
企画運営委員会受理	2016年 5月19日

< 2016年度 >

2016年 5月20日 第5回 いいふれあい運動の紹介  
開催場所：大川原化工機（鴨居）  
2016年 7月22日 第6回 化学工場の自己事例 開催場所：綜研化学（高田馬場）  
2016年 10月 7日 第7回 労働安全衛生総合研究所 見学  
2016年 12月 9日 第8回 不安定が原因で起こる事故 開催場所：日本化学工業（亀戸）

企画運営委員会受理 2017年 3月15日

年度

企画運営委員会受理 年 月 日

年度

企画運営委員会受理 年 月 日

--